



10月 日本料理教室

「だし巻き卵」や「太巻き」にチャレンジ!参加者は、彩り豊かに出来上がった料理を詰めた弁当箱を手に、満面の笑み!



10月 日本文化体験バスツアー

常陸大宮市で6年ぶりに再開した西塩子の回り舞台と、高部宿の歴史的な街並みを見学。貴重な機会を堪能しました。



11月 ワールドトーク

ゲストは、南インド出身。参加者は広大なインドの多様性に驚きつつ、新しい知見を得られた充実のひと時になりました。



11月 サンクスギビング

アメリカ出身の講師と、歌ったりゲームをしたり工作をしたり。聞こえるのは、こどもたちの笑い声と講師と話すカタコトの英語。



11月 つくってみよう!世界の料理

メニューはハラル(*)食材を使ったインドネシアの家庭料理。講師によるインドネシアの紹介も参加者の心に残ったことでしょう。
(*) 豚肉、豚肉由来成分やアルコールを含まない食材



12月 ワールドキッズセミナー

カナダの壮大な風景から、動物、食べ物、習慣、クリスマスの過ごし方まで、カナダの魅力をたっぷり学びました。



12月 世界のこぼれよみさせ

ひとつの絵本の朗読を、ふたつの言葉で。毎回たくさんのこどもたちが、音の響きに、じっと耳を傾けています。

イベント・講座の情報は、ホームページ・facebook・LINEでお知らせします。

イベント情報 配信中!

世界を知る ●海外出身の方をゲストに世界に親しむ講座
●「世界の今」について見識を広げる専門家によるセミナー

日本を伝える ●日本の伝統文化を体験し、水戸の魅力に触れる参加型のイベント
●水戸市の生活インフラ見学

一緒に楽しむ ●様々な国の言葉が飛び交う国際交流パーティー
●外国出身の方と楽しむゲームやミニツアー

水戸市で活動する国際交流団体 茨城県ベトナム友好協会 www.nv-i.jp

日本とベトナムの親善友好を深め
経済・文化・科学・技術・人事の交流をはかり
国際交流に貢献します。

- ベトナム訪問団派遣
- アンタイ子どもの家支援
- 外国人無料法律相談
- 新春のつどい開催
- フエ外国語大学との交流
- 留学生支援 ●技能実習生支援
- 大使館や関係機関との連携
- 会報紙の発行

会員を募集しています!

茨城県に住むベトナム人は、年々増加し在留外国人統計の上位を占めています。ベトナムに対する理解を深めたい、ベトナム人と交流してみたいという方は是非ご連絡ください。一緒に活動していきましょう。

問い合わせ TEL:029-224-3500 FAX:029-224-3505
webadmin@nv-i.jp 担当者: 大場 和男

フエ外国語大学との交流 (2025年2月/ベトナム フェ市)
アンタイ子どもの家支援 (2025年2月/ベトナム フェ市)
新春のつどい (2025年2月/水戸市内)



世界を知る。日本を伝える。

はじめは日本語でこんにちは

日本語教室で新しい体験を

外国人も日本人も一緒に楽しむ

もっと知ろう! 国際交流のカタチ

外国語ってどんなかな?

新しい出会いがここに

広い世界への最初の一步

明日の世界を語り合う

日本の伝統文化にチャレンジ!

食べればわかる! 世界の文化

未知の視点で世界を捉える

水戸と世界をつなぐ扉

友好交流提携25周年 中国の重慶をもっと知ろう!

水戸市と重慶市の交流は、つくば科学万博が開催された1985年に始まりまし
た。その後、官民が連携して様々な形で交流を深め、2000年に友好交流都市提
携に至りました。コロナ禍で人的交流が困難だった時期を経て、25周年を迎えた
2025年9月に青少年訪問団が、そして10月には高橋靖水戸市長を団長とする親
善訪問視察団が2017年以来8年ぶりに重慶市を訪れました。



重慶はどんな都市?

北京、上海、天津に次ぐ中国で4つめの「直轄市」の重慶市は、世界最大規模の面積と人口を誇ります。四川省(省都は成都市)から1997年に分離独立しました。

いったいどんな都市なのか。首都圏をさらに巨大化したようなイメージ?実は、北海道より少し小さい面積(8.24万km²)に、北海道の約7倍の3,400万人が暮らしています。さらに、長江(揚子江)と長江の支流である嘉陵江が合流する急峻な地形に都市が形成されていることから、「山城」の異名があります。市街地のあちこちに急な階段道があり、道路もヘアピンカーブの連続。崖に林立する建物を空中回廊が結び、その迷宮ぶりは3Dならぬ「8D都市」とすら呼ばれています。



都市交通にも驚愕!

重慶の都市歩きの楽しみのひとつが公共交通です。林立する高層ビルの間や河岸の崖を縫うように走るモノレール。計画路線上にマンション建造が決まると、そのマンションをえぐるようにモノレールを通しました。高低差が著しいため、階段道で対応できなければエレベーターやエスカレーターを設置。長江ロープウェイも、元々は通勤手段のひとつでしたが、今では長江の都市景観を眺望できる乗り物として観光客に人気です。

「辛い」だけじゃない料理の奥深さ

「辛い」といえば思い浮かぶのは四川料理。とはいえ、成都と重慶ではテイストがまるで異なります。中華料理の辛さには、山椒などの「麻(しびれ)」と、辛子の「辣(辛さ)」があります。麻辣のバランスがとれた麻婆豆腐は、成都の代表的な料理です。一方、重慶の名物、重慶火鍋は「麻」が強烈で激辛。ところが、慣れてくるとその「麻」に格別の風味を感じられるようになるのだとか。



重慶へのアクセス

成田空港から中国国際航空の直行便で約6時間(週3便)。直行便が早朝や深夜発着となる場合、上海/北京/香港などを経由するフライトもあります。重慶江北空港と重慶中心部は地下鉄、空港バスやタクシーで約1時間。



Topics 外国ルーツのこどものための日本語クラス

近年、母国で中学校を卒業して来日し、日本語が初級レベルのため高校進学が難しい15~18歳の若者が増えています。水戸周辺も例外ではなく、日本語ボランティアグループ・オルビスは、こうした日本語初級の高校進学を目指すこどもを対象に2025年11月~2026年2月に日本語クラスを開講。高校受験の仕組みや手続きについての説明会も行いました。



重慶市提携25周年記念事業(令和7/2025年)

水戸市から重慶市を訪問

9月1~6日に青少年交流訪問団、
10月15~19日に親善訪問及び中国文化・行政視察団が派遣されました。



青少年訪問団は重慶市からの招致で前年に続き2回目。大学生や若手の社会人10名が参加して重慶市内視察や、四川外国語大学付属中学、重慶工商大学などを訪問して、重慶の若い世代と交流を深めました。



重慶市人民政府外事弁公室を表敬訪問して馮子敏副主任主催の歓迎会でもてなしを受けました。これからの末永い交流の継続を誓いました。



高橋靖市長を団長とする親善訪問視察団に市議会から6名の議員、21名の市民が参加しました。

重慶パネル展

1993年に水戸市で開催された「全国都市緑化フェア」に、重慶市の協力で展示した恐竜化石が大好評となり、その後、水戸市と重慶市は中学生の卓球交流やコロナ禍での支援物資の寄贈など着実に交流を続けてきました。10月末から2か月にわたり市役所、市民会館と当センターで、両市の交流を振り返り、重慶市の魅力を紹介する展示を行いました。



「8D魔幻都市・重慶」講演会

『重慶マニア』著者の近堂彰一さんを招き9月13日に開催。コアでディープな重慶の魅力語る講演会でした。「住みにくさ」が生んだ唯一無二の都市進化……まさにこの副題のとおり。重慶市民の誰よりも街の隅々まで徹底散策を極めた著者が、重慶がなぜ他の大都市にない様相の都市に発展を続けたのかを熱く語りました。

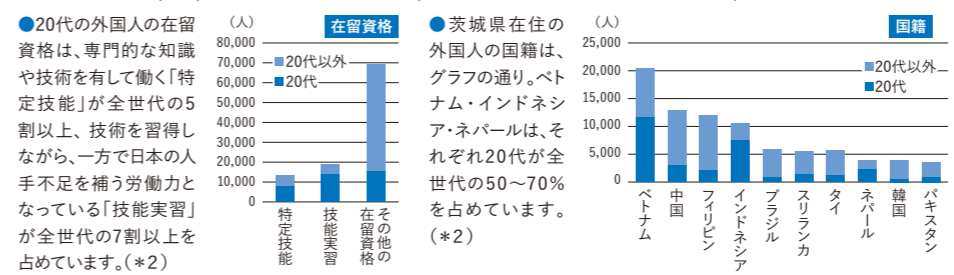
在重慶総領事講演会

7月19日に高田真里総領事(当時)を水戸にお招きし「日本総領事 縦横無尽に重慶を語る」と題した講演会を開催。タイトルのとおり、重慶の産業、経済から重慶の特異な地理、街歩き面白さ、重慶の食の極み、若者のカルチャーまで盛り沢山の内容。高田総領事の親しみやすいお人柄に参加者は気軽に質問もできて、重慶ファンを増やす講演会となりました。



茨城県で暮らす20代の外国人

茨城県の人口は2,806,403人、そのうち20代は258,401人。20代の中で、13.9%にあたる35,870人が外国人です。(*1)



*1 茨城県常住人口調査(2025年1月1日現在) *2 出入国在留管理庁在留外国人統計(2024年12月調査)

ライブラリーだより

新着図書が続々!

MITO国際ライブラリーでは、国内外で出版された絵本や、日本文化を紹介する洋書、世界各国の文化や風土についての書籍などを多数そろえています。

新着図書については、こちらをご覧ください。

